

簡易郵便局を訪ねて 96

農場で麦をつくりビールに加工。朝市で販売も。
みはらしのちよう

三原西野町簡易郵便局（広島県三原市）



局長
秦 秀治

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



三原西野町簡易郵便局外観

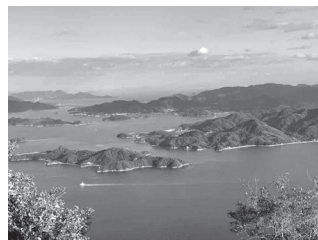


作ったビールを販売

に出店
している
ました。
朝市
などを
通して
地域と
交流し
ている
おかげ

当局は一九六三年に三原西野町簡易郵便局として、三原市の受託で開局しました。その後私の祖母が一九七一年に引き継ぎ局長となりました。私は簡易郵便局で仕事をする前は東京の出版社に勤めていたのですが、祖父の跡を継いで二〇〇二年に三代目の局長となり現在に至っています。

のですが、道路の拡張により住宅が建てられ、市街化区域が広がりました。時代の流れで局の前にあった工場が閉鎖され、お昼時に局を利用していた従業員の方が来られなくなり少し寂しくなりました。私自身も農業をやっていて、米や麦を育てています。麦はビールに加工して朝市やマーケットで販売しています。先日もマーケット



筆影山からの景色

か、三年前までは町内会長やPTAの会長をお願いされ、引き受けていました。

当局のある三原市には筆影山があります。この筆影山からの風景は三二〇円切手の画像として使用されています。写真の景色がちょ

うと切
手に使
われた
風景で
す。当
局から
筆影山
までは
近く、
七、八
キロほ
どの距
離です
ので、
身近に
感じて
います。

感じています。

局のある地域は特に年配の人が多く所で、その他にも郵便局はいくつかあるのですが高齢化率は高いと思います。そのため、郵便や貯金の仕事だけでなく、近所の方が「手紙が届いたけどどれが重要なかわからない」と来局されることもあり、その時は一緒に確認をして相談に乗っています。

写真の中で局の天井から下がっているのはお客さまが作った麦わら細工です。公民館で麦わら細工作りがあつて、そこで作成したも



麦わら細工の下がる窓口

のを当
局に持
つてき
てくだ
さいま
した。
細工に
使用し
た麦わ
らは私

が提供したものでしたのでとても嬉しかったです。その他にもお客さまが作ったものを局に持ってこられることも多いので、窓口ロビーに飾らせていただいています。局の仕事と共に農業も続けて、さらにお客さまが身近な相談ごとでもできる、地域で頼れる局だと思つていただけるよう努めていきたいと思っています。

住所 千七百〇五 広島県三原市西野
四一六一一

